



ひかりのこ

2022年度 **10月号**

日本キリスト教団

名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)

名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820

ホームページ: [名古屋新生教会](#)

9月は台風の日本列島通過とともに、秋を運んできました。日の入りも早くなり、コオロギなどの虫の音も聞こえ、日に日に秋の深まりが感じられます。スポーツ、芸術、読書、食欲?!…何をするのにも快適な季節です。寒い冬が来る前に、何かに挑戦してみたいはかがでしょうか。

今月の礼拝 単元26: イスラエル王国の分裂

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4～中学生以上) 9:00～9:30	分級 (小学生/中学生以上) 9:35～9:55	こどもれいはい (幼児～小3) 10:00～10:20
10月2日	王国の分裂	列王記上 11:41-12:33	武岡 基	(状況をみて) プレイ・タイム	武岡路実
10月9日	アハブ王の背信	列王記上 16:29-17:24	安達正樹牧師	(状況をみて) プレイ・タイム	安達いづみ
10月16日	エリヤの対決	列王記上 18章	林 小夜子	(状況をみて) プレイ・タイム	武岡 基
10月23日	エリヤの後継者	列王記上 19:19-21 列王記下 2:1-18	武岡路実	(状況をみて) プレイ・タイム	安達正樹牧師
10月30日	エリシャとナアマン	列王記下 5:1-19	武岡 基	(状況をみて) プレイ・タイム	安達正樹牧師

分級はしばらく様子を見て再開の判断をします。10月後半からはクリスマスに向けてのプログラム（去年は木の枝を使ったタペストリー型のクリスマスツリーに飾るオーナメント作りをしました）ができればと計画しています。参加は自由ですので礼拝だけの出席でも構いません。

これまで10月の行事では、愛知西地区のいろんな教会学校が集まって「CSこども大会」として名古屋高校の体育館でちょっとした運動会を開催し、名古屋新生教会も参加してきました。新型コロナの影響により今年も中止となりました。

11月には、子ども祝福式、収穫感謝礼拝を予定しています。詳細は次月の「ひかりのこ」でお知らせします。

「神無月」 日本では古来からの言い伝えとして、10月には日本中の八百万（やおよろず）の神様が、出雲の国（島根県）に集まり会議を開き、他の国には神様がいなくなってしまうことから「神無月」と呼ばれてきました。神様の集まる出雲の国では「神在月（かみありづき）」と呼ばれています。「神無月」であっても、神さまはいつも私たちのそばにいてくださいます。

今月の聖句

つね しゆ おぼ 常に主を覚えてあなたの道を歩け。

みち ある しょうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてください。 (箴言 3:6)

今月のさんびか

こどもさんびか 133 (あるこう みんなともに)



11月後半まで「イスラエル王国」について旧約聖書を学んでいます。9月の礼拝ではイスラエル王国の王様となったソロモンが知恵を求めた話もありました。ソロモンの言葉を集めた「格言集」として旧約聖書の『箴言』があります。今月の聖句もソロモンの言葉によるものです。また諸説ありますが旧約聖書の『雅歌』、『コヘレトの言葉』もソロモンによるものと言われています。

今月のさんびか133「あるこう みんなともに」は、これまで普通の礼拝では歌ったことのない賛美歌です。南アフリカの賛美歌で、ドイツで1995年に発行された国際的エキュメニカルな（キリスト教の教派を超えた）賛美歌集で紹介されています。南アフリカでは歴史的に長い間、白人が黒人を支配する人種隔離政策（アパルトヘイト）が法律で定められていました。その政策が1994年に撤廃され、その翌年にこの賛美歌が紹介されました。もとの南アフリカの賛美歌では歌詞はズールー語と呼ばれる言語です。南アフリカは多くの民族から成り立っているため、ズールー語や英語など実に11の言語が公用語として定められています。その中の1つズールー語は南アフリカ東部から、周囲を南アフリカに囲まれているレソト、南アフリカの北に位置するジンバブエやエスワティニといった南アフリカ周辺国を含めた地域でおもに話されている言語です。1995年の賛美歌集では、ドイツ語、英語、スペイン語の訳詞が収録され、どの言語でも「神の光の中を歩こう」（シヤハンベクカニエン ケンコス）という内容が繰り返し歌われます。賛美歌とは関係ないですが、『ライオン・キング』の最初で、謎めいたヒヒの祈祷師「ラフィキ」が高い声で「ナーンツィゴンニャー！ マバギー、チババー！」と叫ぶ歌詞もズールー語だそうです。

さて、133「あるこう みんなともに」では、2拍の中に四分音符を3つ当てはめる「3連符」のリズムに戸惑うかもしれませんが、南アフリカの民族音楽のリズムを便宜的に西洋音楽の楽譜に書き記したもので、厳密に等分することにとられる必要はありません。とりわけ「と・も・に」は言葉としても当てはめやすく、1・2拍目でもあり音程としても3連符のリズムが取りやすいですが、「の・な・か」は言葉を当てはめにくく、3・4拍目で音程も上がって下がる（ラ・シ・ソ）ので3連符を気にしすぎず、きちんと音程をとったほうがよいでしょう。この賛美歌は、歌いながら入堂・退堂したり、打楽器や手作りの素朴な楽器を用いたり、手拍子をしながら歌ったりすることもできます。今月の聖句にあるように、神さまを忘れず信じて、明るく照らされている道をみんなで元気よく歩いていこう！という気持ちで歌いましょう。

おたんじょうびおめでとう

10月生まれのお友だち

10月31日…「宗教改革記念日」

1517年10月31日、神学者マルティン・ルターがドイツのヴィッテンベルク城教会の扉に「95か条の提題（論題）」を貼り出したことから「宗教改革」が始まりました。これは当時の教会のあり方に対して疑義を表明したものでしたが、受け入れられなかったため、教会の改革運動から新しくプロテスタント教会が生まれ、「ルター派」としてヨーロッパ各地に広がりました。その理念の中心は「聖書のみ」「信仰のみ」「万人祭司」です。当時ヘブライ語等のみだった聖書は自分たちで読める言語に訳しました。礼拝では、会衆が自分たちの声で賛美歌を歌うことが大事にされるようになりました。ルター自身も賛美歌を作り、『讚美歌21』では377「神はわが砦」の他、多くの賛美歌が残っています。

